

平成 22 年 12 月 3 日

定期検査中の福島第二原子力発電所 4 号機における  
原子炉隔離時冷却系での異物の発見および回収について

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

< 概要 >

( 事象の発生状況 )

- ・ 平成 22 年 12 月 3 日、定期検査で停止中の 4 号機において、原子炉内に水を注入する設備に設置されている弁の内部に、異物(らせん状の金属片 1 個)を発見し回収しました。

( 今後の対応 )

- ・ 今後、異物が混入した原因を調査します。また、他の異物の有無について、継続して確認します。

( 安全性、外部への影響 )

- ・ これによる外部への放射能の影響はありません。

( 公表区分 )

- ・ 本事象は公表区分 ( 運転・保守管理上、重要な事象 ) としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1 . 事象の発生状況

平成 22 年 12 月 3 日、定期検査で停止中の 4 号機において、原子炉隔離時冷却系\*の弁の分解点検を行っていたところ、同日午前 11 時 20 分頃、協力企業作業員が当該弁の内部に異物らしきもの 1 個があることを発見しました。

その後、異物らしきものを回収し、同日午後 1 時 40 分、らせん状の金属片 1 個(縦約 10mm、横約 10mm、厚さ約 0.3mm)であることを当社社員が確認しました。

2 . 今後の対応

今後、らせん状の金属片が混入した原因を調査します。

なお、今後も継続して、他の異物の有無について当該弁周辺の確認を実施します。また、他に異物が確認された場合は、とりまとめてお知らせします。

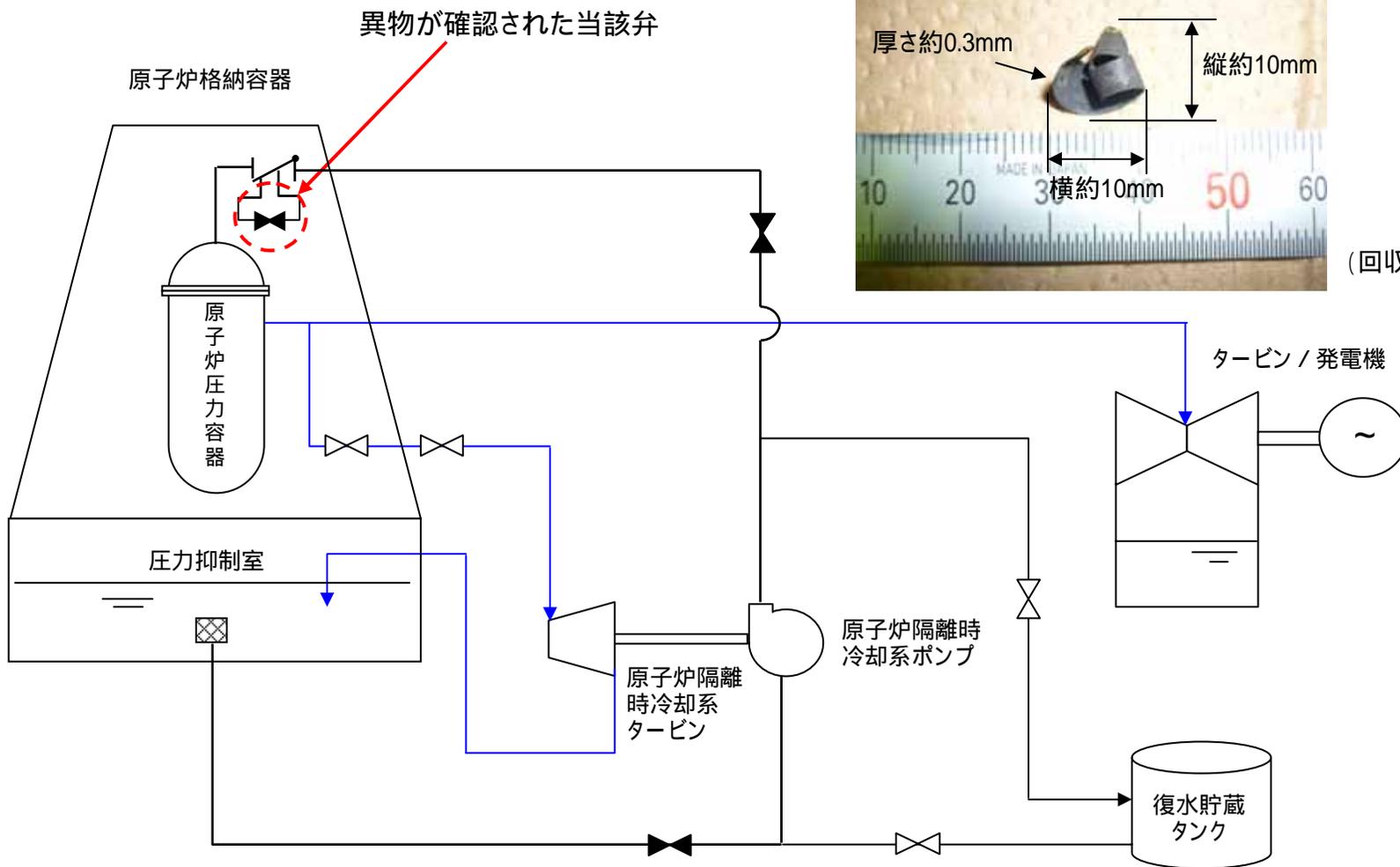
3 . 安全性、外部への影響

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

\* 原子炉隔離時冷却系

原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統。なお、本系統は非常用炉心冷却系ではない。



原子炉隔離時冷却系 系統概略図